

第20回さがみはら環境まつり参加

生分解性ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう！

現代生活学部 生活デザイン学科

第20回さがみはら環境まつり参加の準備

1. さがみはら環境まつりの概要

東京家政学院大学生生活デザイン学科では、神奈川県相模原市との地域連携活動として、例年6月に開催されている『さがみはら環境まつり』に実行委員として参加しています。『さがみはら環境まつり』は、地域で活動する市民、事業者、大学及び行政の協働により市民の環境への関心を高めることを目的としたイベントです。

第20回さがみはら環境まつりは、2024年6月23日(日)に、青山学院大学相模原キャンパスを会場として開催されました。主催はさがみはら環境まつり実行委員会、共催は相模原市、事務局は相模原市立環境情報センターのエコパークさがみはらです。多くの企業や団体の後援や協賛・協力を得て開催されました。実施内容は、環境保全に取り組んでいる団体のパネル展示や工作体験、ステージ企画等でした。対象は一般市民、参加費は無料で、当日の参加者は約3000人を超え、大盛況となりました。



▲第20回さがみはら環境まつりポスター

2. 『ポリ乳酸繊維布でコサージュを作ろう！』体験教室の企画・運営

プラスチック製品の使用や廃棄の問題に着目したテーマです。環境配慮型の生分解性繊維であるポリ乳酸繊維を身近に感じてもらうため、知ること、触ることを目的として、ポリ乳酸繊維布を使ったコサージュ作りの体験教室を実施しました。子どもたちが楽しく体験できるように、ポリ乳酸繊維布をカラフルに染色し、簡単に縫うことができるコサージュの作り方を検討しました。更に、作り方を分かり易く説明できるように、グループに分かれ、相互に教え方の練習をしました。

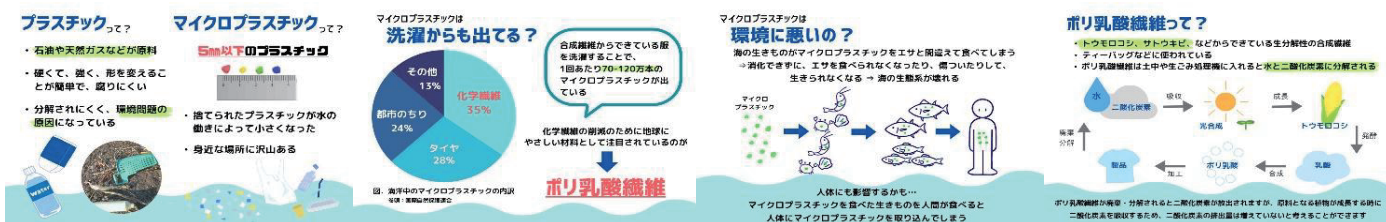


▲ポリ乳酸繊維布の染色と制作したコサージュ

【コサージュ用ポリ乳酸繊維布提供:山中産業株式会社】

3. パネル制作

プラスチック製品の使用や廃棄の問題、環境に配慮したポリ乳酸繊維について簡単に伝えるために4枚のパネルを制作しました。



▲マイクロプラスチック問題やポリ乳酸繊維の説明パネル

4. ポリ乳酸繊維のスタッフウェアの制作

Bioworks Corporationからご提供されたポリ乳酸繊維100%の<PlaX™> Short Sleeve Regular TEEシャツに自分たちで校章をプリントしたり、コサージュ用の布でフリルを付けるなどのアレンジをしたスタッフウェアを制作しました。



▲校章のプリント作業と各学生がアレンジしたスタッフウェアのパネル

【スタッフウェア用<PlaX™> Tシャツ提供:Bioworks Corporation】

第20回さがみはら環境まつり当日の参加

体験教室では、パネルを用いてマイクロプラスチックの環境問題やポリ乳酸繊維の紹介をした後、好きな色のポリ乳酸繊維布でコサージュ作りを行いました。参加してくれた子どもたちは慣れない針を持って一生懸命取り組んでくれました。また、2名の学生は相模原市のキャラクターさがみんの着ぐるみに入りイベントを盛り上げる活動も行いました。



◀当日の様子

まとめ

コサージュが出来上がると参加者も学生も共に嬉しそうに笑顔になったのが印象的でした。学生はこの活動を通じて、環境問題、イベント企画の運営、学外の方々、学内の多学年との協働など様々な学びの機会を得て、成長してくれたと感じています。

プロジェクト概要

- パートナー
相模原市立環境情報センター
(エコパークさがみはら)
さがみはら環境まつり実行委員会
- 担当教員
現代生活学部 生活デザイン学科
准教授 花田朋美
- 学生
現代生活学部 生活デザイン学科
1年生 2名
2年生 5名
3年生 6名 計13名
- 実施期間
活動期間 令和6年3月～8月
まつり開催日 令和6年6月23日